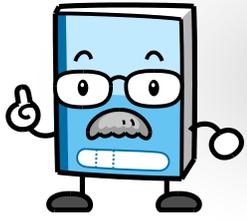




学校情報・生活情報・勉強情報満載！

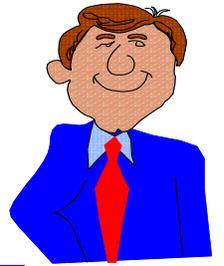
発行日 2月28日(火)



# あむーる

島根県立松江北高等学校 14R学級通信 第13号

## No.1



### 先輩の 大学紹介

# これがICUの生活です!

●●●●●●●● 国際基督教大学 二回生 大谷 はんな

こんにちは、現在、国際基督教大学（ICU）の二年生の**大谷はんな**といいます。ICUは入学したらみんな教養学部のアーツサイエンス学科に入り、三年生になると、興味のある専攻（メジャー）を選びます。私は今のところ、発展途上国の子供の生活について知りたいと思い、比較教育と開発学のダブルメジャー（二重専攻）にする予定です。比較教育とは、様々な国の教育制度や教育環境について調べ、比較する学問です。国によって所得、文化、宗教、言語、など多様な要素の影響を受けて、本当にいろんな種類の教育制度があります。開発学とは発展途上国の事情について学び、その国がどういう政策をとり、他の国々がどう支援したらより安定した発展を維持できるか、様々な学問（教育、経済、政治等）から研究する学問です。

ここでまず、ICUについて知っている方はとても少ないと思うので紹介します！

ICUはいちおう東京にある私立の大学です。いちおうと言ったのは、ICUは自然にあふれていて「東京」というイメージから離れているからです。建物は森に囲まれていて、敷地の真ん中にはバカ山、あほ山、という中くらいの丘があり、生徒はよくそこでご飯を食べたり、おしゃべりします。私は、この自然は学生の心に余裕をもたらしていると思います。敷地内に幼稚園と教員住宅があるため、小さい子供もよく見かけます。ネコやタヌキもよく見かけます。春には桜、夏は青い芝生、秋は紅葉、冬はきれいな星空が見えます。授業が終わって疲れていても建物から出たときにきれいな夕焼けを見たり、のんびり散歩することで回復します！

ICUの学生も特徴的です。帰国子女や留学生が多いこともあり、自分の意見を共有しようとする人が多いです。つまり議論することが好きな学生が多いです。頑固なわけではなく、ただいろんな人と意見を交換したいと思っている人が多いのです。また、「自分の世界」を持っている人が多いです。自分がどのようなことを好きで、そのために何をしているのか、について語ってくれる友達がたくさんいます。授業でよくwhy?を問え、と言われることもあって、みんなよく、なぜその問題自体が起きたのか、議論することも多々あります。自分は他人と変わっていてもいいや、と思える人がたくさんいます。

ICUは英語が得意といわれますが、別に英語について学ぶわけではありません。あくまでも英語は話すための手段として使います。なので、1年生の時に受ける英語のクラスは、英語の文法や読解というより、大学とは何を勉強するところか、批判的思考とは何か、等を英語で勉強します。英語を勉強したい人には向いてないと思います。英語で勉強したい人に向いています。英語開講（英語で行われている）の授業を受けると留学生が多く受けており、彼らが多く発言することに刺激され、より積極的に自分から発言できるようになりました。逆に言うと、英語が得意だとICUで受けれる授業が倍増します。

またICUは学生が少なく、一学年500人程度です。でも教員はたくさんいるので、授業は少人数で行われることが多く（今学期受けた授業で全員で6人という授業がありました！）、何か困ったことがあったら、ふらっと先生のオフィスに訪れて相談することができます。授業では生徒と先生の関わりが重要視されている（先生が生徒と意見を交わすことは義務付けられているそうです）ため、先生はよく生徒の意見を聞こうとします。生徒もよく意見を求められるため、自分の意見をはっきり説明しようとしています。

では、私のICUの生活について少し書きます！私はサンバサークルと水泳サークルに入っています。サンバとはあのブラジルでリオのカーニバルとかで踊られている・演奏されている音楽です！すごい陽気で、聞いているとつい体が動いてしまい、じっとしてられません！毎年浅草サンバカーニバルというサンバのコンクールみたいなものに出ていて、現在もその準備をしています。暮にも地元の祭りにも出させてもらっています♪また、ICUの寮に住んでいます。ICUは敷地が広いので、学生寮も敷地内にあり、徒歩1分くらいの距離にあります。寮行事がとても盛んで寮内、他寮、ともにたくさん交流できます！とにかく寮生のみんなは温かく、一緒にいるのが楽しく、寮は私にとって第二の家です。本当に寮なしの大学生活は全く想像できません、というより想像したくないです！あと、私はこの夏からフランスに一年間留学します。交換留学なのでフランス語を学ぶためだけでなく、先ほど言った比較教育や開発学の授業をフランス語で受けます。ほとんどフランス語ができないのでとても不安ですが、それと同時にめちゃくちゃ楽しみです！

以上で、ICUに関する豆知識・私の大学生活コーナー終わります！大学での時間は本当に貴重です！！今で出会ったことない人、知らなかった分野、本当にいろんな出会いがあり、今までの自分の考え方は狭かったということをお覚させられます。大学によって特色があるのでできるなら学部だけでなく、雰囲気を知るために大学訪問することをお勧めします！私もICUのオープンキャンパスに行って、一目ぼれして、入りたくなりました（笑）。みなさんは今は勉強や部活で忙しく、大変だと思いますが一つだけアドバイスとして、とにかく何事も最後までねばり、やり遂げることが大切だと思います。何かをあきらめることは本当に簡単です。でもそれはくせになってしまいます。最後まで粘り続けて、学生生活最後までがんばったよーーー!!!って言いけるように、悔いのないように頑張ってください。絶対にそのあとの自分の糧になります！ファイトーです！^^



●今回は卒業生の大学の生レポートです。有り難うございました。多忙の中書いてくれた先輩達に感謝しながら、読ませてもらいましょう。

▲お読みいただきありがとうございます。次号もお楽しみに。

# 島根大学医学部の紹介

島根大学医学部 一回生 福田 智信

まず学生について。僕と年代の方もおられれば、一度社会に出られた後、医師を目指して入ってこられる方もいらっしゃると思います。モチベーションは人それぞれですが、総じて高めかと思えます。講義についてですが、一年生では余り実際に人体に関連する内容はあまりありません。むしろ物理や有機化学、細胞についての生物が大きいです。物理が普通の力学、量子力学、電磁気学、熱力学に分かれています。生物選択の人は死ぬ気でやらないと、再試すら危ういレベルです。後期には物理、化学は実習があります。結構難しめです。生物は基礎基本からしっかり教えてください。生物も実習がありますが、これもかなり丁寧です。医学英語というものがあり、普通の英語とは別に（普通の英語も医学寄りになってますが）、医学のための英単語や臨床会話などを見ます。1000語は軽くあるので、しっかりやらないと痛い目を見ます。読解もむずかしめです。心理学も資料が英語なので、英語力は必須です。その他医療経済論など、医療関係に偏っていますが、分野はそこそこ多いです。第二外国語ですが、出雲キャンパスでは中国語とドイツ語の二つからのみ選ぶことができます。中国語が意外と人気です。

一年生の前期（人によっては後期も）は、松江で単位ををいくつか選んで取る必要があります。一コマ目の講義の場合、朝7時に出雲キャンパスに集合してバスで松江に向かうこととなります。最後の5コマ目まで講義があると、出雲に着くのが夜7時ごろになります。朝弱い人には厳しいです。前期で取るべき数の単位を取ってしまえば、後期は金曜日を空けることができます。

その他にも課外授業として、夏休みに実習として、老人保健施設等に訪問させていただきました。また、県内の諸地域で、実際の医療の様子を学ぶ実習も希望すればできます。海外研修（学年で行く場所が異なる）も費用が出せれば、参加できます。来年以降は、研究のための自由科目が設置されますし、いろいろできるのではないのでしょうか。

来年度から、成績第一位の人の半期授業料免除以外に、成績優秀な学生、成績の伸びが良い学生には、次の学年のための教科書、参考書がプレゼントされるようになるそうです。

部活は松江のものとは別に、野球、剣道、弓道、テニス、卓球、バスケットボール、ラグビー、サッカー、少林寺拳法、タグラグビー、管弦、馬術、写真、などがあります。北高にある部活動はほとんどあるので、続けるもよし、新たなものもやってよし、な環境です。部活ごとにテスト対策をしたり、学園祭で出店したりするので、たいていの人がどこかの部活に属しています。運動部はちょうど夏休みに入るところで（今年度は一年生のテストのど真ん中でしたが）、西日本の医学生の大会有ります。また、そこまでのところで中四国の医学生の大会有ります。

最後に設備等について。出雲キャンパスには看護学科棟に大きなPC室があり、朝7時から23時まで使えるようになっており、白黒ですがプリンターも使えます。印刷は一人250枚まで使えます。講義の資料がネット上に出版されていることもあるので、重宝しています。また大学図書館医学分館は、24時間利用可能になっています。規模は松江の本館より大分狭く、蔵書も医学関連がメインです。勉強に使うことが多く、テスト前の追い上げ時期には人でごった返します。

これで一通りざっと説明したつもりです。かなり長くなってしまいましたが、最後に一つ。勉強に追われながらですが、充実した毎日が過ごせています。入学を考えている人の助けになれば、興味を持ってくれる人がいたら幸せです。入学希望者の人には、入試のため以外に、英語と物理をしっかりやっておくことをお勧めします。

参考にしてくださいね！



お知らせ

■「チーム八ちゃん」のブログにも、みなさんの勉強に参考になる記事がいっぱい出ていますよ。のぞいてみてくださいね。

<http://teamhacchan.wordpress.com/>

## ◆音楽が好きだけで伝えたいことはなかった頃

今でこそ、「日本人みんなに通じるスタンダードな歌詞」なんていわれているけど、曲を書き始めて間もない頃は、どういふ詞を書いたら認められるのかわからなかった。詞を書くということは、誰かに何かを伝えることであって、とてもアーティストチックなこと。でも、そんな教育は受けていないし、若かったし、音楽が好きだけで、伝えたいことなんて何もなかったしね。今のオレが当時のオレをプロデュースすることができたなら、きっと、どうやって鍛えたらいいのか途方に暮れる(笑)。一生懸命やってきたし、いろいろ試行錯誤もしてきたけれど、あの頃の完成度は低かった。「綺麗な詩だね」とはじめて言われたのは『秋の気配』だったと思う。ディレクターの「抽象的な言葉をやめて、具体的な景色を入れてみてはどうか」というアドバイスを受け容れてからかな、変わったのは。

## ◆どのようでも解釈できる普遍的な詞が好き

音楽で女性を口説こうとか、女性に何かを訴えかけようとか、そんなつもりは全然ないよ。ラブソングは、作品の響きや自分に対する説得力で成り立っている感じだよ。よく「女性の気持ちがわかるんですか？」と聞かれるけれど、オレ、わかってないよ、女性のこと。オレらしい真実とかパーソナルな部分がどこかに投影されていたとしても、やっぱり聞き手次第じゃないかな。普遍的で、年齢に関係なく、どのようでも解釈できる詞を好んで書いてきたから、聴く人が好きなように感情移入できるのかもしれない。今だったら、何でも書ける。書きたいことが増えているわけではなくて、歳を重ねて、それなりに人生経験を積んできたし、もちろんそれが仕事だし。何でも書けるようになったけど、「これだったんだ」というものは残していきたいね。

## ◆「ねじ伏せる」ことがモチベーションとなる

オレの場合、「ねじ伏せる」という気持ちがモチベーションとなることって多いよね。たとえば『キラキラ』のようなドラマの主題歌を作るときは、ドラマのコンセプト以上に「ドラマに関わっているスタッフ全員をねじ伏せよう、納得させよう」と考えている。

人の作品をプロデュースするときも、遠慮していたらただのアレンジャーにすぎないわけだし、オレを求めているわけだから「こいつをねじ伏せる」という強い気持ちをもって、その人の人生に関わっていくようにしている。五月から始まるコンサートでも、オレは毎日同じことをしたくないから、パターン化しないつもり。毎日違うことをしていることをスタッフにも感じてもらいたい。だから、スタッフをねじ伏せる。毎日が勝負だと思っているし、それならなおさらねじ伏せなければつまらないからね。

## ◆人と交わることは人生修行をすること

二、三年前かな、『個人主義』というオリジナルソロアルバムを出してから、気持ちがずいぶん楽になった。それまでは、アレンジが重なっているとか、あのときのあの曲に似ているとか、同じような言葉を使っているとか、気になることがたくさんあったけど、「これでいいんだ。何にも似ていない」って吹っ切れて。プレッシャーから解放されたら、自分を信じることができるようになった。「目先のことしか考えないで、その時その時やればいい」って。次のオリジナルアルバムも早めにリリースしたい。でも、そんなに簡単にスタートできるものではないので、もう少し時間が必要。だからしばらくは「人と交わる」ことを続けていきたいと思う。いろいろな人と接触していくことは、音楽的な、というよりも人間的な勉強につながるし、思い出になるし、パワーをもらえる。自分ひとりだけなら許されることでも、相手がいればそうはいかないし、修行になるんだよね。



ねじ伏せる！

小田和正の生き方

●小田和正が、その昔メルセデス・ベンツのホームページに掲載したインタビュー記事を再録する。彼の日頃考えていることがよく分かる内容だ。中でも「ねじ伏せる」という言葉が印象的だった。最近清水翔太の最新CD「君さえいれば」をプロデュースした。プロデュースというより小田さんとの共作と言ったほうがいい。コーラスも小田節だ。この曲を聴くと、小田さんの言うことがよく分かる。そのときそのときに彼にできる限りの範囲で、あれもこれも口を出す。そうして妥協しないで、限りなくいいものに仕上げていく小田流のプロデュース術だ。松たかこや柴崎コウの作品もそうだった。「ねじ伏せる」素敵な言葉じゃないか！